

# QMS委員会 2023年度事業計画（案）

## 第4号議案

2023年7月28日

CIAJ QMS委員会

## ◆ 目次

1. 活動方針
  2. 運営体制
  3. CIAJ本体からの指示事項
  4. 2022年度の申し送り事項への対応
  5. 2023年度の運営方針
  6. QMS委員会の運営に関するご提案
  7. 2023年度の活動計画
- [ご参考] 外部機関との連携（行政・社会性）**

# 1. 活動方針

## 活動方針

・グローバル経済の中、**3つの活動視点(会員企業, 行政, 社会性)**により、ISO 9001に準じたQMSを活用し、**会員企業の製品品質/サービス品質及び経営品質のパフォーマンス向上を目指す。**



< **3つの活動視点** >

## 2. 運営体制（現状）

### 運営体制

- 運営委員会：委員長,副委員長,運営委員,会計監事,特別委員,フェロー
- 運営委員会開催時、各イベントの企画検討状況・進捗状況の確認、成果物等のレビューを実施
- QMS研究活動は運営委員会開催時や各イベントとのコラボレーションによる運営一体化にて効率的な委員会運営を実現

総会

運営委員会

・委員会  
運営

+

・研究活動  
・イベントの  
企画・運営

会員企業数：5社  
 委員長：1名  
 副委員長：0名  
 運営委員：1名(TC176委員含む)  
 会計監事：0名  
 特別委員：1名  
 フェロー：2名  
 (2023年7月27現在)

## 3. CIAJ本体からの指示事項

### 委員会活動への指示事項

- ① 事業計画策定方針をふまえた委員会活動計画の策定（繰越金の活用を含めた予算策定）
- ② 共通経費の負担（繰越金の取り扱いについては、共通経費負担に充てることが可能）
- ③ 予算精度を高めるための実行をともなった予算値策定
- ④ 法人としてのコンプライアンスの遵守

### QMS委員会の取組み



- （1）2023年度の活動計画（P16～P20参照）を実施し、会員企業におけるQMS活動の基盤強化・向上に貢献する。
- （2）イベント・企画の実施については、会員企業にとって役立ち、参加し易い企画（社会状況、事業環境変化、公益性の観点を踏まえ）をミッションとし、会員企業へ募集を行う。
- （3）会員企業とのダイレクトなコミュニケーション（オンラインを主とする）を定期的を実施し、QMS委員会の将来の活動の方向性や会員企業のご意見・ご提言等について、意見収集するとともに、委員会活動を活性化させていく。

## 4. 2022年度の申し送り事項への対応

### 2022年度活動のふり返りをふまえた申し送り事項

数年間続いたコロナ禍から脱却し、社会活動状況や企業活動状況はウィズコロナ・アフターコロナとした活動状況に変化している。

QMS委員会は会員企業の退会が続き、現在の運営体制では活動が維持できない厳しい運営状況にある。

QMS委員会は会員企業のニーズや期待に応えるイベント・企画／情報発信等を継続的に実行するため、現在の会員企業と協力し、QMS委員会の運営の見直しを含め、改善し、QMS委員会を維持していくことを目指す。

### 申し送り事項に対する2023年度の対応



QMS委員会の運営方式の見直しを含め、会員企業に運営方式案を提案する。採択された運営方式にて、QMS委員会を維持し、会員企業とダイレクトなコミュニケーションを通じて、会員企業にとって、役立ち、参加しやすい工夫・企画（職場で活用できる実践的な講義、気付きを得る『一見の価値あり』の見学先の選定、教育・情報の提供等）を検討し、試行する。

## 5. 2023年度の運営方針

### 2023年度の運営方針 『QMSの運用やプロセスを改善する』（継続）

- テーマ：QMSを変化に対応した運用や運用に必要なプロセスに改善するには

#### 『QMSの運用やプロセスを改善する』とは・・・

- QMSの運用やプロセスは技術革新，社会状況や企業活動状況等の変化の影響に柔軟に対応し，改善していく必要がある。
- QMSの目的は，品質保証や顧客満足向上の仕組みの構築とそれを達成するための運用であるが，外圧や義務感としてのISO9001の認証維持や認証維持のための内部品質監査の実施等が目的となってしまうと，それは『QMSの形骸化』と言わざるを得ない。

#### なぜ『QMSの運用やプロセスを改善する』なのか・・・

- 社会や企業は数年間続いたパンデミックを経て，現在はウイズコロナにて活動を続け，アフターコロナに向けた活動へ変化していることを踏まえ，組織が運用しているQMSやプロセスはその変化に対応できているか？改善が必要なQMSの運用やプロセスとは何か？を検討し，QMSの運用やプロセスを継続的に改善していくことが必要etc

## 6. QMS委員会の運営に関するご提案

### ご提案 1 現在の運営方式の継続

現在の運営方式は、以下の通り

- ① QMS委員会の運営を行う運営会社にて、運営委員会（定期・不定期）を開催し、総会対応やイベント・企画、運営に関わる諸事項について、方針を決定し、その実行を遂行する。
- ② 運営会社が不足した際は、会員企業（運営会社以外）より運営会社を募り、ご賛同いただいた会員企業が、運営会社となる。
- ③ 運営会社はQMS委員会における役割（委員長／副委員長／会計幹事等）を担う。

今年度は運営会社を継続できる会員企業が1社となり、現在の運営方式を継続できない状況である。

現在の運営方式を継続するには、あらたに運営会社になっていただける会員企業が必須となる。



## 6. QMS委員会の運営に関するご提案

### ご提案 1 現在の運営方式の継続

そこで、あらたに運営会社となっただけの会員企業を募集させていただく。

あらたな運営会社となっただけの会員企業には役割（副委員長／会計幹事等）を担っていただく。

また、運営委員会に出席し、総会対応やイベント・企画、運営に関わる諸事項について、方針を決定し、実行していくこととなる。

総会対応やイベント・企画時は、運営委員会を臨時開催する場合がありますので、ご協力いただくことになる。

会員企業には、昨年<sup>2022</sup>年の訪問・懇談会時に話させていただいた実務の分担対応は必要時に別途、依頼させていただく。

## 6. QMS委員会の運営に関するご提案

### ご提案 1 体制案

- 運営委員会：委員長, 副委員長, 運営委員, 会計監事, 特別委員, フェロー
- 運営委員会開催時, 各イベントの企画検討状況・進捗状況の確認, 成果物等のレビューを実施
- QMS研究活動は運営委員会開催時や各イベントとのコラボレーションによる運営一体化にて効率的な委員会運営を実現

総会

運営委員会

・委員会  
運営

+

・研究活動  
・イベントの  
企画・運営

会員企業数 : 5社  
 委員長 : 1名  
 副委員長 : 1~2名 (募集)  
 運営委員 : 1名 (TC176委員含む)  
 会計監事 : 1名 (副委員長兼務)  
 特別委員 : 1名  
 フェロー : 2名

## 6. QMS委員会の運営に関するご提案

### ご提案2 現在の運営方式の廃止，新たな運営方式で活動

本提案は，現在の運営会社における運営委員会方式ではなく，運営会社という形式を廃止し，会員企業と定期的に会合を行い，運営・活動していく方式で，定期会合方式と名付けさせていただきます。

CIAJの他の委員会において，運営委員会方式で運営を行っていない委員会は，この運営方式と同様な運営方式にて活動されていると想定している。

運営方式は，以下の通り

- ① 会員企業と定期的に会合を行う。（会合回数は検討中）
- ② 定期会合の際，QMS委員会の運営状況の報告，各イベントの企画検討状況の報告，各イベントに関する資料の展開・共有，その他情報展開・共有・意見交換を行う。
- ③ 総会は定期会合の特定の時期に行う。（7月下旬を想定）

## 6. QMS委員会の運営に関するご提案

### ご提案2 現在の運営方式の廃止，新たな運営方式で活動

この運営方式においても，QMS委員会における役割が必要となる。

役員の役割は現状と同等と考えるが，特にQMS委員会維持のために必要な役割を以下に定める。

#### ①『委員長』

- ・運営に関する全ての役割を担う。（委員長は今年度継続）
- ・定期会合方式の運営，イベント・企画の立案・実行，CIAJ本体に関する対応（全委員長会議，委員会合同連絡会，活動実績報告，活動計画，予算計画報告・実績報告等）

#### ②『会計幹事』

- ・年間予算の収支報告の監査を担う。
  - ・決算報告書の監査・記載（押印），総会時の決算報告書の監査報告
- ※会計幹事は委員長より，別途，指名させていただく。

## 6. QMS委員会の運営に関するご提案

### ご提案2 現在の運営方式の廃止，新たな運営方式で活動

会員企業には，**昨年**の訪問・懇談会時に話させていただいた実務の分担対応は必要時に別途，依頼させていただく。

## 6. QMS委員会の運営に関するご提案

### ご提案 2 体制案

- **運営委員会方式から定期会合方式へ変更**
- **役員：委員長，副委員長，運営委員，会計監事，特別委員，フェロー**
- **定期会合メンバー：全会員企業（上記の役員を含む）**
- **定期会合：定期開催，委員会の運営状況の報告，各イベントの企画検討状況の報告，各イベントに関する資料の展開・共有，その他情報展開・共有**

総会

定期会合

- **運営状況及びイベント企画検討状況の報告・意見交換**
- **その他の情報展開・共有・意見交換**

会員企業数	：	5社
委員長	：	1名
副委員長	：	0名
運営委員	：	1名(TC176委員含む)
会計監事	：	1名（別途，指名）
特別委員	：	1名
フェロー	：	2名

# 7. 2023年度の活動計画 (1/5)

委員会運営	内容
<b>運営委員会</b>	<b>運営委員会方式を継続する場合</b> QMS委員会の意思決定の会議体。 QMS委員会の運営状況及びイベント企画検討状況の報告・意見交換，その他の情報展開・共有・意見交換を行う場。
<b>定期会合</b>	<b>運営委員会方式を廃止した場合</b> QMS委員会の会員企業における定期的な会合体。 QMS委員会の運営状況の報告，各イベントの企画検討状況の報告，各イベントに関する資料の展開・共有，その他情報展開・共有・意見交換を行う場。
<b>メルマガによる 会員向けの情報発信</b>	会員向けのメールマガジンによる，QMS委員会のイベント・企画の告知/報告，QMS関連の最新動向などのQMS関連情報の定期的なプッシュ型情報の発信。
<b>情報収集ならびに 行政・社会への貢献</b>	TC176国内委員会への委員派遣，ISOフィードバック調査や規格制定へのコメント実施。 標準化/品質関連諸団体のセミナー・教育参画による情報収集実施。

## 7. 2023年度の活動計画 (2/5)

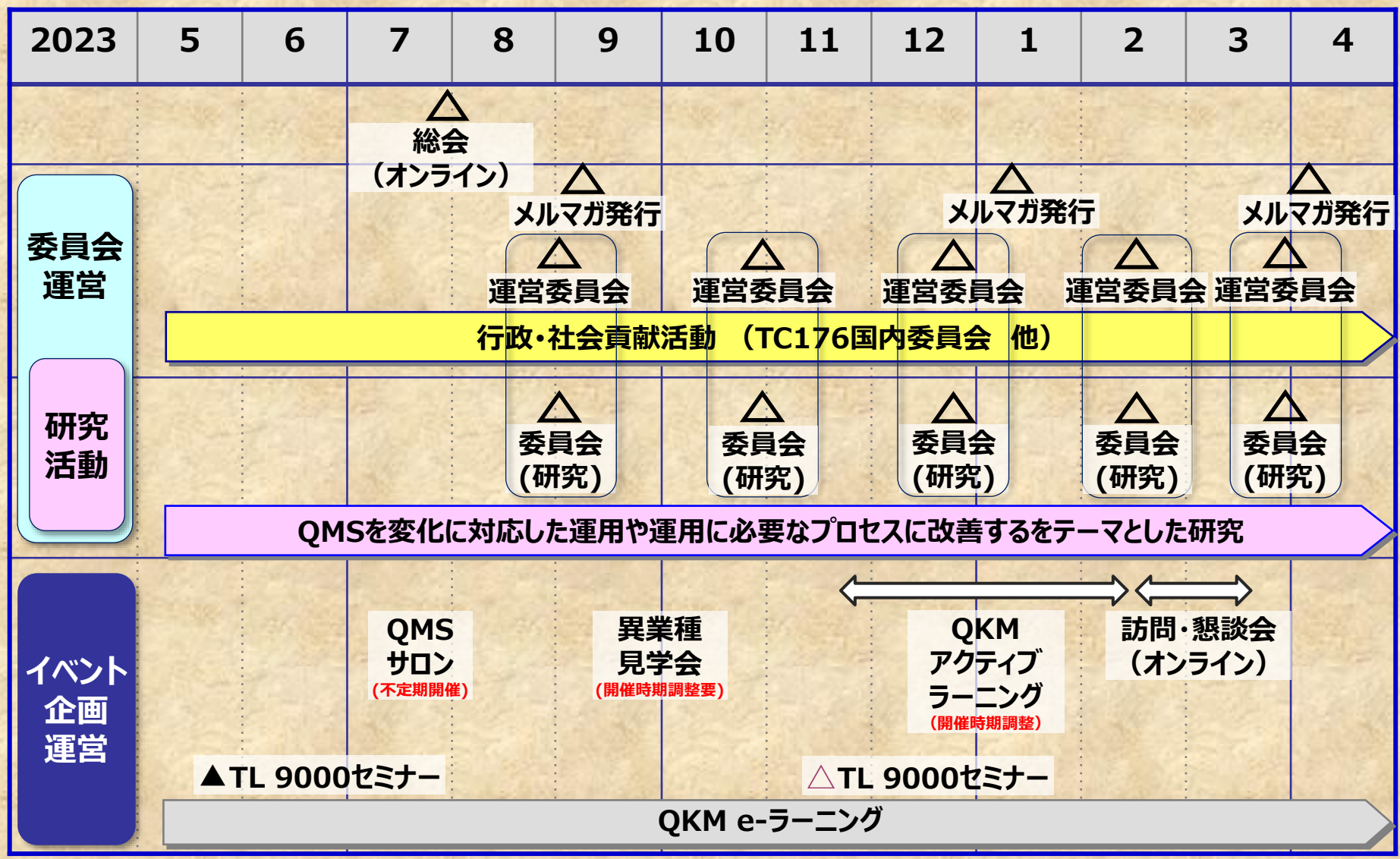
イベント企画・運営	内容
QKM アクティブラーニング	実践的なQMSの学びの場（講義形式，ワークショップ形式等）組織的学習のため，リスクを見つけ出し・機会(オポチュニティ)を自主的に取りにいく能力を身に付ける場。
訪問・懇談会	会員企業とのダイレクトなコミュニケーションの機会を創出。
QKM e-ラーニングサービス	ISO 9001:2015規格解釈に加え，品質管理基礎講座；4コースを継続して提供。
TL9000セミナー	TL 9000の外部機関であるTIAクエストフォーラム日本ハブと連携したセミナーを提供。
異業種見学会	異業種の品質に関わる活動や交流を通して気付きを得る「異業種見学会」の開催。
QMSサロン	会員企業においてQMS推進に携わる方を交え，QMSへの知的資産活用やQMSの高度化活用への気づきの場を提供。 （会員企業メンバの気づきの声をふまえ，必要に応じてQMS研究活動へフィードバックする）
HPの運営	QMS委員会のHPの定期更新，会員企業への情報発信。



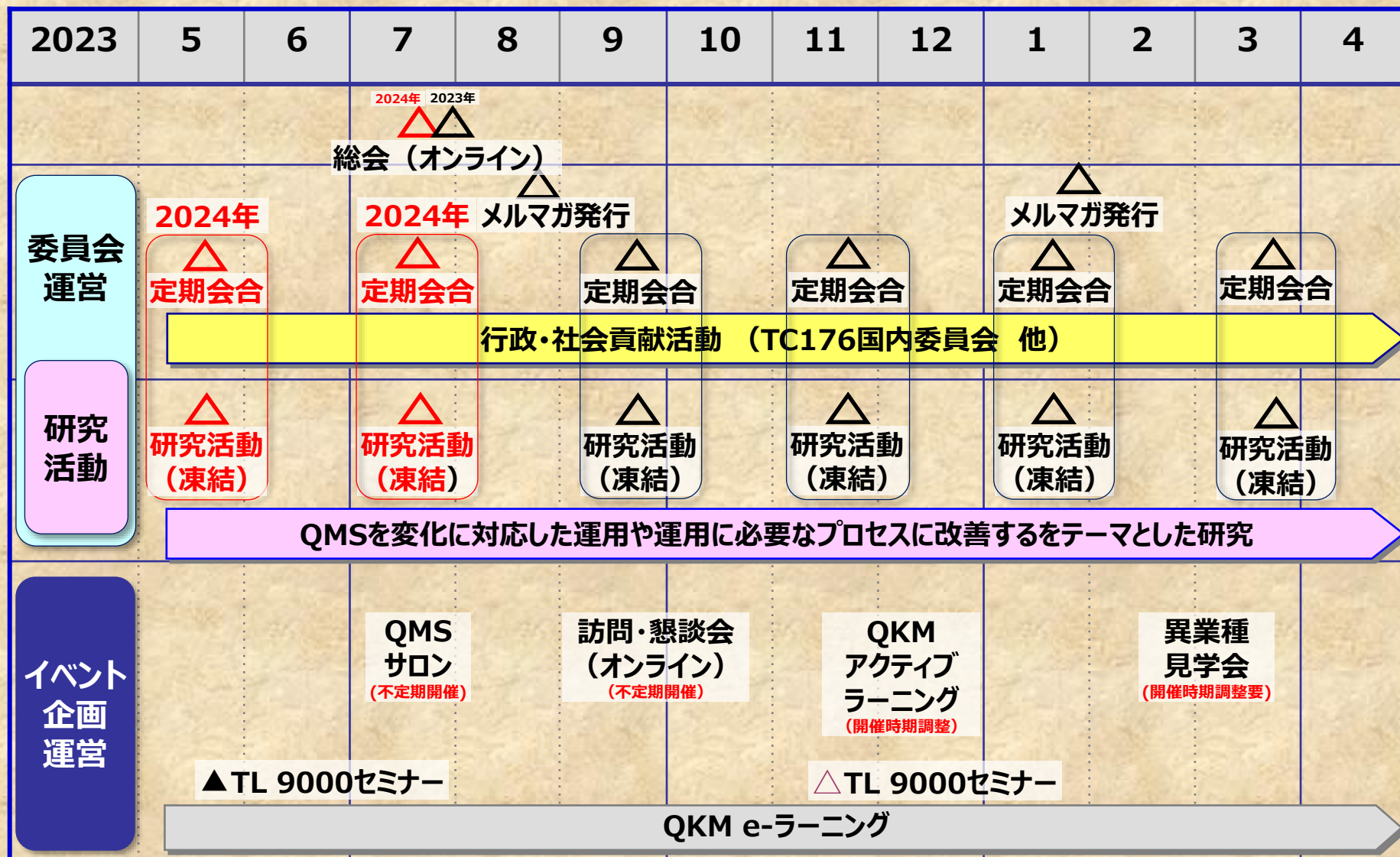
## 7. 2023年度の活動計画 (3/5)

研究活動	内容
<p>QMSを変化に対応した運用や運用に必要なプロセスに改善するにはどの様に考え、活動していけば良いのかを研究</p>	<p><b>運営委員会方式の場合は、運営委員会の中で実施。            定期会合方式の場合は、当面研究活動は凍結。</b></p>

# 7. 2023年度の活動計画 (4/5) 運営委員会方式



# 7. 2023年度の活動計画 (5/5) 定期会合方式



一般社団法人  
情報通信ネットワーク産業協会



**C I A J QMS委員会のHP**

**URL : <https://www.ciaj.or.jp/qms/>**

# 【ご参考】 外部機関との連携（行政・社会性）

